

■佐藤進 医家。明治政府の海外渡航免状第1号でドイツ留学。外科を専門とし、順天堂第3代の主となった。

さとうすすむ

阿部正弘首座1845＝ 常陸太田の高和清兵衛の長男に生まれた。

ペリー来航・1853＝ 8歳：
開国開港・・・1854＝ 9歳：

早くから俊才を謳われ、

安政の大獄・1859＝14歳：_下総佐倉の順天堂に入門、
桜田門外変・1860＝15歳：

ここでははじめ高和介石と称して蘭方医学を修めたが、

8月18日政変 1863＝18歳：

_塾主の佐藤尚中の親戚(尚中の妻が進の母の妹)であり、慶応年間に尚中の養子となり、佐藤進と改名。

明治維新・・・1868＝23歳：_戊辰戦争では官軍の呼び出しに父尚中の代理として白河に出征し、奥羽追討陸軍病院の長として大いに働いたが、力不足を痛感したためか、
戊辰戦争終・・・1869＝24歳：_ドイツ留学を決め、明治政府の海外渡航免状第1号を得て渡独、
カイザー＝ウイルヘルム大学で正規の課程を経て、

学問のすすめ1872＝27歳：

明治6年政変 1873＝28歳：

佐賀の乱・・・1874＝29歳：_日本人初のドクトルの学位を得た。ついでウィーンにゆき、ビルロートのもとで外科を学ぶうち、

初の民間工場1875＝30歳：_尚中病気の電報を受け、急ぎ帰国の途についた。その後、順天堂(尚中の主義で正式には病院と称さない)を発展させるが、活動はこの病院に限局せず、

西南戦争・・・1877＝32歳：*西南戦争には大阪陸軍臨時病院の長を勤め、

明治14年政変1881＝36歳：

帝国大学始・1886＝41歳：帝国大学医科大学の第1および第2病院の長を約1年間勤める。

帝国憲法発布1889＝44歳：

帝国議会始・1890＝45歳：

日清戦争始・1894＝49歳：

日清戦争終・1895＝50歳：*日清戦争後の下関での講和談判で、清国の全権大使李鴻章が日本人暴漢に狙撃される大事件が起きた際には、大本営のある広島から直ちに下関にゆき、幸いに回復することを得た。

Bushidou・・・1899＝54歳：

日比谷公園・1903＝58歳：*日露戦争のときも、陸軍軍医総監として広島をはじめ、諸地の傷病兵を診て回り、大きい功績を樹て、

日露戦争終・1905＝60歳：

_戦後は、伊藤博文の要請で朝鮮の衛生状態を改善し、ソウルに大韓医院を創設した。

韓国反日暴動1907＝62歳：数多くの功績により、男爵となった。

アヲチ`創刊・1908＝63歳：

伊藤博文暗殺1909＝65歳：この頃より、*順天堂の業務を養子の達次郎に委ね、茨城県麻生の広大な別荘で読書三昧しながら、

大逆事件判決1911＝66歳：「水戸義公伝」、

明治天皇没・1912＝67歳：

第一次大戦始1914＝69歳：「餐霞録」など、_医学でない書を成して、

ロシア革命・1917＝72歳：

原敬首相暗殺1921＝76歳：_没した。